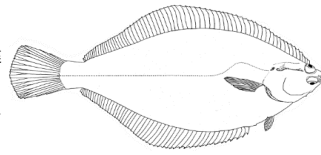


# 11. マガレイ

石狩湾以北日本海  
～オホーツク海海域

## 主な漁業と漁期

オホーツク海：刺し網、底建網、沖合底びき網：5～12月  
日本海：刺し網、沖合底びき網：9～翌6月



## 生態

### ◆分布・回遊

石狩湾からオホーツク海にかけて分布します。石狩湾、苫前沖から利尻・礼文島周辺で産み出された卵及び仔稚魚の多くはオホーツク海へ移送され、未成魚期をオホーツク海で過ごした後、成熟の進行に伴い日本海へ回遊しますが、一生を日本海で過ごす群も存在します。

### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は4～6月です。
- ◎産卵場は石狩湾、苫前沖から利尻・礼文島周辺海域の水深40～60mに形成されます。

### ◆成長・成熟

オホーツク海を成育場とする群 (7月時点)

	全長(cm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	10	10	13	10
2歳	16	16	48	57
3歳	21	21	92	119
4歳	24	24	135	175
5歳	26	27	172	219

\*) 2003～2007年の調査船調査の標本より  
\*) 加齢の基準日：7月1日  
※一生を日本海で過ごす群の成長は、道総研水産研究本部の資源評価書をご参照ください。

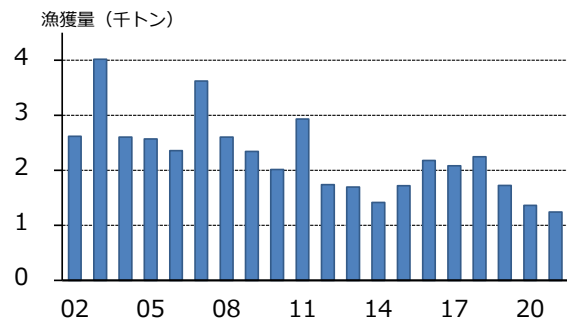
- ◎成熟年齢（オホーツク海を成育場とする群）
  - ・オス：1歳から成熟する個体がみられます。
  - ・メス：2歳から成熟する個体がみられます。

※一生を日本海で過ごす群の成熟については、道総研水産研究本部の資源評価書をご参照ください。

## 資源評価

[評価年] 7月～翌6月  
[資源量の指標] 2歳以上の資源重量

漁獲量は2019年度以降減少し、2021年度は過去最低の1,243トンで資源水準は中水準と判断されました。翌年度の資源量を推定したところ、2022年度の2歳以上の資源重量は増加すると見込まれるものの、増減幅は小さいことから、資源動向は横ばいと判断されました。



2021年度の水準 中水準

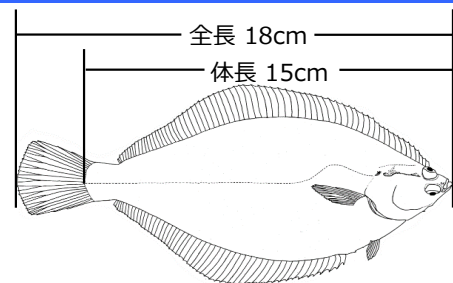
2022年度の動向 横ばい

※道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

## 資源の維持・増大のために！

### 資源管理の現状(主なもの)

- 資源管理協定(2019年3月更新)
  - 関係漁業者間で体長15cm又は全長18cm未満の未成魚保護を目的とする漁場移動や海中還元(底建網)を定めています。
- その他
  - 漁業権行使規則等で操業期間、漁具の制限等を定めています。



☆今後も加入動向を注視する必要があるものの、現状の漁業形態・漁獲圧のもとで概ね資源は持続的に利用されていると考えられます。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 中央水産試験場資源管理部

電話 011-204-5477  
電話 0135-23-8707